



新年のごあいさつ



蒲郡市長
稲葉正吉

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災からの復興、原発問題、長引く不景気、巨大地震への備えなど、非常に多くの課題が浮き彫りとなった一年ではなかったかと思えます。

このような難局の中、私は蒲郡市の舵取り役という重責を担う者として、蒲郡市の進むべき大きな目標である「活気のある蒲郡」「元気のある蒲郡」を目指し、引き続きフットワーク良く、スピード感を持ち、現場主義で精いっぱい取り組んでまいります。

まず、社会基盤整備の面においては、国道23号蒲郡バイパスと国道247号中央バイパスの早期全線開通、三河港蒲郡地区のマイナス11m岸壁の早期完成を目指すとともに、通勤・通学や高齢者の足として貴重な社会基盤である名鉄西尾・蒲郡線の存続のため、西尾市、愛知県とも協力し、市民まるごと赤い電車応援団や沿線住民の方と連携して利用促進に努めてまいります。

また、企業誘致や新産業創出を積極的に推進し、私が掲げる施策の一つであります「働く場の確保・産業の振興」を進め、人口増につながる町づくりに努めてまいります。

さらに、昨年より取り組んでおります健康づくり事業を充実させ、市民の皆さまがいきいきと健康でお過ごしいただけるような施策を進めてまいります。

そして本年は、市制施行60周年という節目の年でございます。4月の記念式典を皮切りに、来年3月にかけてさまざまな記念事業を展開してまいります。市民の皆さまと一緒に祝いし、1年を通して賑わいと活気あふれるまちにしたいと思っております。

最後になりますが、市民の皆さまには、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。